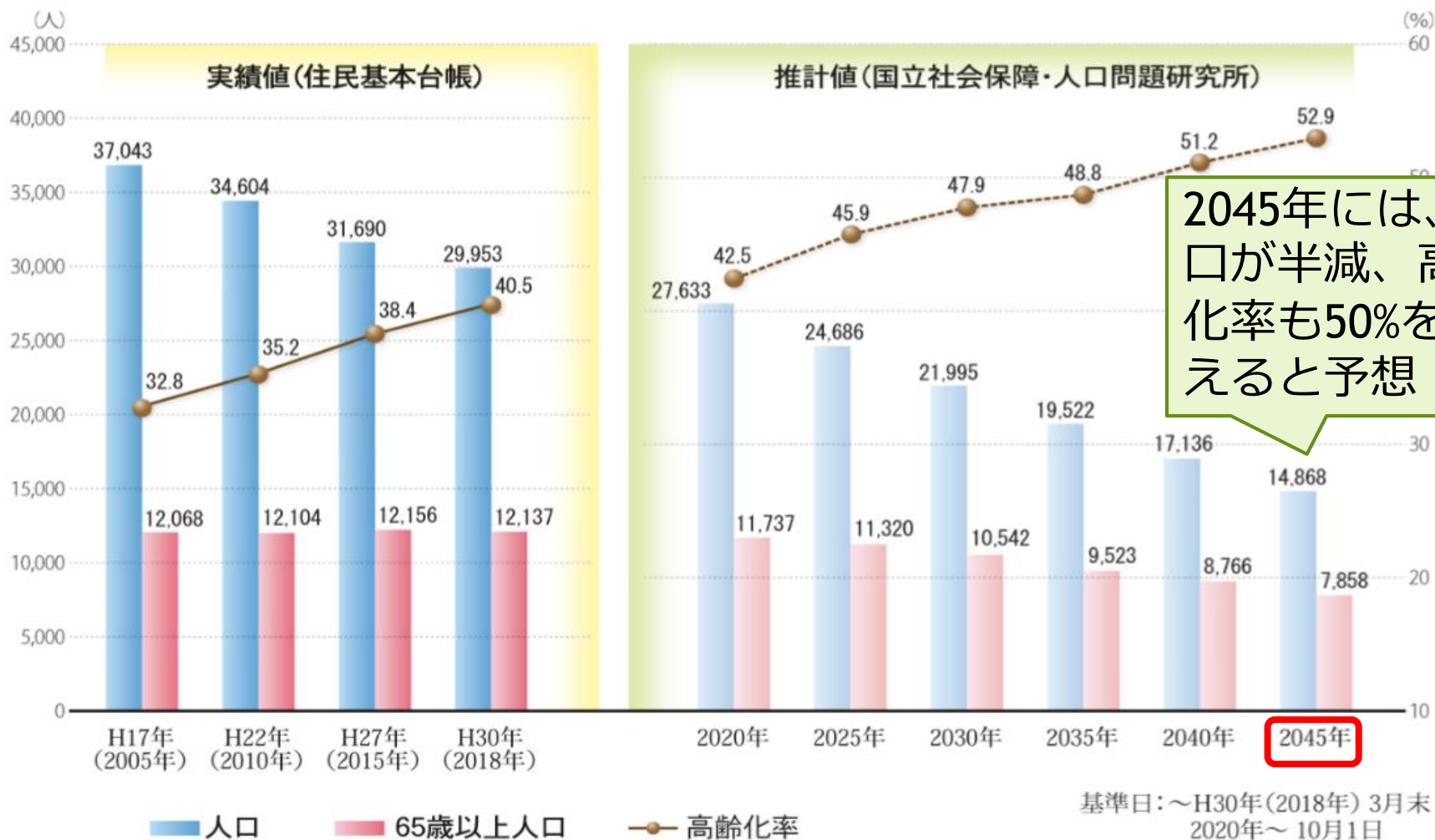


# 新見市版地域共生社会 の実現に向けて

新見市長 池田 一二三

# 最大の課題は人口減少と少子高齢化

人口・65歳以上人口・高齢化率の推移



# 将来の新見市のために、

## 今、やらなければならないこと！

### ① 「人口減少」、「少子高齢化」の抑制

両者の取組を同時に  
進める

#### まち・ひと・しごと創生総合戦略

定住人口の増加に向けた取組

地域資源を活用した交流の活性化と産業振興

雇用機会の創出

担い手不足の解消

女性が輝くまちの実現

### ② 「人口減少」に備えたまちづくり

#### 新見市版地域共生社会の実現

# 夢と希望をもって人と地域が 元気なまちを創る

市報2019年1月号  
市長コメント

本市にとって最大の課題は人口減少であり、その対策に重点的に取り組んでおりますが、日本全体の人口減少が進んでいることから、本市においても、この傾向は続いていくことが見込まれます。

～中略～

私たちは、時代の変化とともに物の豊かさや便利さを手に入れましたが、一方では、人と人とのつながりや地域での助け合いの力をだんだんと失ってきたのではないかと感じております。これから、本市が目指そうとしているのは、そうした人と人とのつながりを取り戻し、人と地域が元気なまちをつくることです。

## 地域では…

近所づきあ  
いが少なくな  
ってきたな  
なあ

地域に関心  
を持つ人が  
少なくなっ  
たなあ

行事に参加す  
る人が少なくな  
ったなあ

役員のなり手が  
いない。一人で  
いくつもの役を  
任せられている

婦人会が存  
続できなくな  
った

**でも、行事と  
会合はいつば  
いある**

## 市役所では…

いろんな制度を時代  
に合ったものに見直  
さないと…

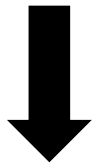
本当の地域づくりは、行  
政主導ではなく、各地域  
の実情に応じた、地域と  
の協働が必要

# 新見市版地域共生社会の実現

## 地域共生社会

年齢や性別などに関係なく、一人ひとりの人格や個性が尊重されるとともに、それぞれが求められる役割を果たしながら相互に協働することで、市民一人ひとりの暮らしと生きがいや地域を創っていく**全員参加型**の社会

地域共生社会の実現を目指すには…



市民と市、そして、本市固有の資源である新見公立大学が、協働し、連携して新見市独自の取組を進める。

地域共生社会の基盤構築  
(小規模多機能自治)

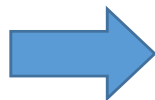
大学を活かしたまちづくり

新見市版地域共生社会の実現

人と地域が元気なまち

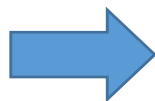
# 小規模多機能自治とは

小規模



日常生活圏域（大字区域や小学校区（旧小学校区を含む。））など地域に適した小さな単位で、

多機能



高齢者福祉、子育て支援、産業振興、耕作放棄地・空き家対策、移住定住といった地域の幅広い課題解決に、

自治



地域の様々な人が、協力して考え、取り組む。



地域運営組織の設立が第1歩

# 小規模多機能自治による地域共生社会の基盤構築

## 人と人がつながり、 地域活力と自治力を取り戻すための取組

まちづくりは、

- ▶ あいさつできる関係づくりのため
- ▶ 子どもたちの世代が誇りをもって暮らし、働くため
- ▶ 災害時などの安心のため である。

IIHOE 川北秀人氏の談（小規模多機能自治の提唱者）

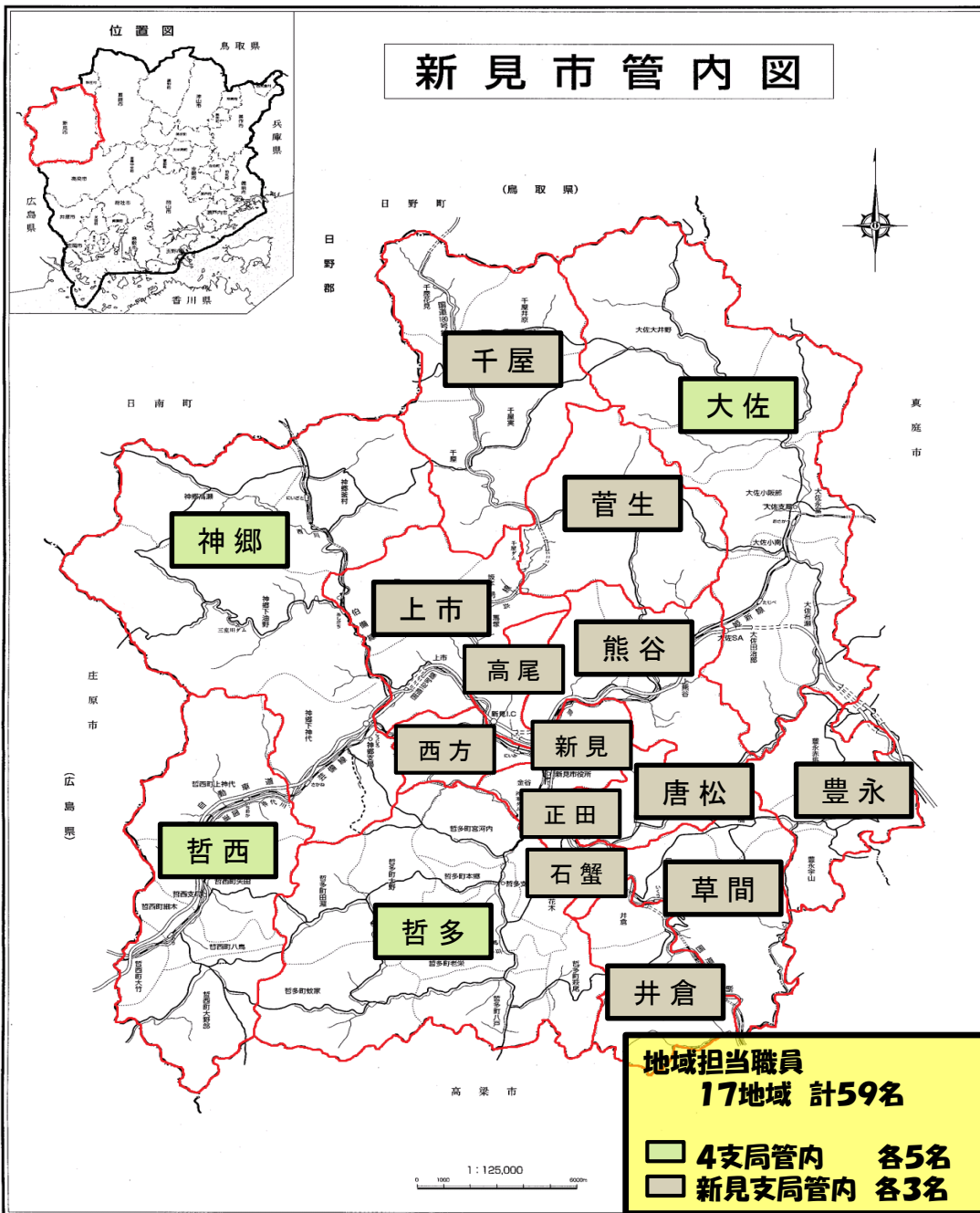


# 地域担当職員 — 配置図 —

市内全域に  
計59名を配置

- 平成30年4月配置
  - ▶新見支局管内8市民センター管内 計24名
  - ▶4支局管内 計20名
- 平成31年4月配置
  - ▶新見支局管内5ふれあいセンター管内 計15名

➡合わせて、福本地域を加えた18地域に18人の「生活支援コーディネーター（公民館長、社協職員）」を配置



# 地域と行政との協働

準備会の立ち上げから地域運営組織の設立・運営まで、行政（地域担当職員、市福祉部、生活支援コーディネーター）や社協も一緒に取り組んでサポート。



人と人がつながり  
地域活力と自治力を取り戻す

# 小規模多機能自治

## ～具体的取組項目～

- 1 地域運営組織
- 2 人材
- 3 活動資金
- 4 拠点施設

# 小規模多機能自治

## ～具体的取組項目～

NO. 1

### 1 地域運営組織

今後の  
地域の代表機関

#### (1) 地域の機運醸成

- ▶意見交換会、研修会など

#### (2) 将来計画づくり

- ▶住民アンケート、ワークショップなど
- ▶行事、会議、組織の棚卸し



### 設立後も継続的な運営支援

地域と行政がお互いに情報を共有し、これまで以上に身近で強い信頼関係を築きながら、地域特性に応じたまちづくりを推進する。

# 小規模多機能自治

## ～具体的取組項目～

NO. 2

## 2 人材

- (1) すべての住民が地域運営組織の一員
  - ▶ 1世帯一票制から一人一票制への転換
- (2) 地域担当職員の配置
  - ▶ 地域と行政とのパイプ役
- (3) 生活支援コーディネーターの配置
  - ▶ 地域内の資源開発、連携体制構築、民間サービスとのマッチング

# 小規模多機能自治

## ～具体的取組項目～

NO. 3

### 3 活動資金

#### (1) 小規模多機能自治一括交付金制度創設

①人件費などの基本額

②統合可能補助金（地域づくり推進事業補助金、  
防犯灯設置費補助金、敬老会補助金）

▶均等割りと人口割りによる算定

 一括して**毎年交付**

#### (2) 地域資源を活かした資金の調達

# 小規模多機能自治

## ～具体的取組項目～

NO. 4

### 4 拠点施設

住民が気軽に立ち寄り、自主活動ができる  
拠点づくり



公民館などを活用

# 小規模多機能自治による地域共生社会 の基盤構築 ～ポイント～

NO.1

## ① 振興会等組織を「イベント型」から 「課題解決型」に転換する！

- ▶ 地域内の事業の棚卸し、組織の棚卸し、会議の棚卸し
- ▶ 住民アンケート・ワークショップなどで、地域の将来像（目指す姿）、課題を共有



地域の将来計画を策定



組織体制の見直し・整備



# 小規模多機能自治による地域共生社会 の基盤構築 ～ポイント～

NO.2

## ②地域に必要なことを地域で決めて、地域で実行 する！

- ▶ビジョン（目指す姿など将来計画）がある地域
- ▶課題を解決するしくみ（話し合いの機能）がある地域
- ▶住民同士のつながりがある地域

# 小規模多機能自治による地域共生社会の基盤構築 ～効果～

## ▶ 人と人とのつながり

➡ 地域の一体感・地域愛が醸成される。

## ▶ 地域自治力

➡ 行政（一律サービス）では手の届かない、地域特有の課題に対応できる。満足度向上。

## ▶ 地域活力

➡ 地域独自の個性に磨きがかかる。

# 地域運営組織

## 1 熊野の将来を考える会

▶ 設立総会 令和元年5月18日(土)

▶ 市の認可日 // 5月24日(金)

➡ 既存組織からの移行パターン

## 2 唐松まちづくり協議会

▶ 設立総会 令和元年6月2日(日)

▶ 市の認可日 // 6月14日(金)

➡ 既存組織を統合した新設パターン

# 地域運営組織設立までの流れ

- 1 機運の醸成
- 2 準備組織の立ち上げ（既存組織の役員会でも可）
- 3 将来計画づくり
  - （1）まちづくりアンケート  
（対象：中学生以上）
  - （2）ワークショップ  
（対象：小学生以上）
- 4 組織構成・規約等の整備
- 5 設立総会

**地域の貴重な  
担い手**



**声を反映**

**「〇〇地域共生社会推進チーム」**

地域担当職員・市福祉部・総合政策課・生活支援コー  
ディネーター・社協がチームで支援！

# ①熊野の将来を考える会

◇母体組織  
「熊野の将来を考える会」

- H29.12 助け合いに関するアンケート
- H30. 4 (市) 協働のまちづくり交付金制度創設
- H30.10 助け合い事業スタート
  - ▶ 移動支援 (ボランティア運送)
  - ▶ 生活支援 (草刈り、買物代行)

交付金を活用して

以後、地域運営組織への移行準備

# <助け合いに関するアンケート>

平成29年度

地域住民を対象に、生活に関する困り事についてアンケートを実施

## ▶手伝って欲しいこと

	支援内容	
1	草刈り	35人
2	送迎	33人
3	鳥獣対策	22人
4	住まいの簡単な修繕・掃除	21人
5	草取り	19人

## ▶手伝えること

	支援内容	
1	ごみ出し	38人
2	草取り	37人
2	買い物の代行	37人
4	草刈り	34人
5	話し相手	30人

### ▶ アンケート結果（上位5位）

※送迎については、アンケート実施時点では支援が困難との判断から、「手伝って欲しいこと」のみの人数を調査

# <アンケート用紙>

B

## 熊野・井倉野地区 助け合いに関するアンケート調査

このアンケートは、熊野・井倉野地区の住民の皆さんに「今、何に困っているか」、また、「どんなお手伝いができるか」等について皆さまの意見をお聞きし、今後の活動に活かすために実施するものです。20歳以上の方でご協力して頂ける方は、1人につき1枚ご記入ください。  
お忙しいとは思いますが、ご協力をお願い致します。

※この助け合い活動は、有償によるものを想定しています。  
※このアンケートは、当事業の研究目的以外に使用することはありません。

- ① 氏名 ( ) ② 年齢 ( ) 歳  
③ 性別 ( 男 ・ 女 )  
④ 家族構成 1人暮らし  
2人以上 ( 夫 ・ 妻 ・ 兄弟 ・ 父 ・ 母 ・ 子ども ・ 孫 ・ 祖父 ・ 祖母 ・ その他 )  
( 名 ) ( 名 ) ( 名 )  
⑤ あなたが日常生活の中で、地域住民の「有償活動」で何を手伝ってほしいかお聞きます。  
以下の質問の該当する項目に○をつけてください。

※有償活動とはお金が発生する活動の事です

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> ごみ出し              | <input type="checkbox"/> ごみの分別         |   |
| <input type="checkbox"/> 家の周りの草取り          | <input type="checkbox"/> 家の周りの草刈り      | <input type="checkbox"/> 話し相手           |
| <input type="checkbox"/> 墓掃除               | <input type="checkbox"/> 障子の張り替え       | <input type="checkbox"/> 住まいの簡単な修繕・掃除   |
| <input type="checkbox"/> 庭木の剪定             | <input type="checkbox"/> 鳥獣対策の手伝い      | <input type="checkbox"/> 部落づとめ(地区行事)の代行 |
| <input type="checkbox"/> 灯油入れ              | <input type="checkbox"/> 灯油購入          | <input type="checkbox"/> こたつやストーブの出し入れ  |
| <input type="checkbox"/> 家具の移動             | <input type="checkbox"/> 買い物の代行        |   |
| <input type="checkbox"/> 長期休暇中の<br>子どもの預かり | <input type="checkbox"/> 急な事情による放課後預かり |   |
| <input type="checkbox"/> 子どもの学習支援          |  |   |
| <input type="checkbox"/> ペットの世話            | <input type="checkbox"/> 花・自家製野菜の水やり   |   |
| <input type="checkbox"/> 送迎(公共施設、病院等)      |  |   |

- ⑥ あなたが日常生活の中で、自分の住んでいる地域の方にできるお手伝いがありますか。  
下記の活動の□にチェックを入れてください。

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> ごみ出し              | <input type="checkbox"/> ごみの分別         |   |
| <input type="checkbox"/> 家の周りの草取り          | <input type="checkbox"/> 家の周りの草刈り      | <input type="checkbox"/> 話し相手           |
| <input type="checkbox"/> 墓掃除               | <input type="checkbox"/> 障子の張り替え       | <input type="checkbox"/> 住まいの簡単な修繕・掃除   |
| <input type="checkbox"/> 庭木の剪定             | <input type="checkbox"/> 鳥獣対策の手伝い      | <input type="checkbox"/> 部落づとめ(地区行事)の代行 |
| <input type="checkbox"/> 灯油入れ              | <input type="checkbox"/> 灯油購入          | <input type="checkbox"/> こたつやストーブの出し入れ  |
| <input type="checkbox"/> 家具の移動             | <input type="checkbox"/> 買い物の代行        |   |
| <input type="checkbox"/> 長期休暇中の<br>子どもの預かり | <input type="checkbox"/> 急な事情による放課後預かり |   |
| <input type="checkbox"/> 子どもの学習支援          |  |   |
| <input type="checkbox"/> ペットの世話            | <input type="checkbox"/> 花・自家製野菜の水やり   |   |

- ⑦ その他、あなたが生活全般において手伝ってほしいこと、得意なことや手伝えることがあればご記入ください。

“一般向け”  
“中学生～18歳・高校生向け”を作成

▶対象者：法曹（熊野地区）に住む地域住民

▶実施時期：平成29年12月上旬～中旬

▶回答者数：一般向け511名、中高生34名（回収率：約60%）

# <熊野・井倉野助け合い事業>

協働のまちづくり  
交付金を活用

## 【目的】

高齢化や一人住まいの率が高くなっている熊野・井倉野地域において、地域住民同士が支え合わなければ安心した生活ができないと考え、「**移動支援**」と「**生活支援**」に取り組む。

## 【事業概要】

- ▶ 移動支援・スーパーなどでの買い物支援、通院支援
- ▶ 生活支援・家周辺の草刈り・草取り、家庭菜園の管理、墓の管理、家の簡単な修理





# 1 役員会で地域運営組織移行協議

- ◇メンバー：26名 熊野の将来を考える会  
顧問、会長、副会長、理事（地区総代、各種団体代表）

## ■井倉地域共生社会推進チームのかかわり方

### ○地域運営組織の設立支援

- ▶話し合いの場への参加
- ▶話し合いのサポート
- ▶事例等の情報提供  
(例)  
設立までの手順など



## 2 将来計画づくり

### ワークショップ - 子どもの会 -



日時：平成31年

3月30日(土)

場所：熊野総合センター

出席者数：23名

### (内容)

- ①地域のいいところは？
- ②将来、こんな地域になったらいいな。
- ③やってみたいこと、やってほしいこと

## 2 将来計画づくり ワークショップ - 大人の会 -



日時：平成31年

4月12日(金)

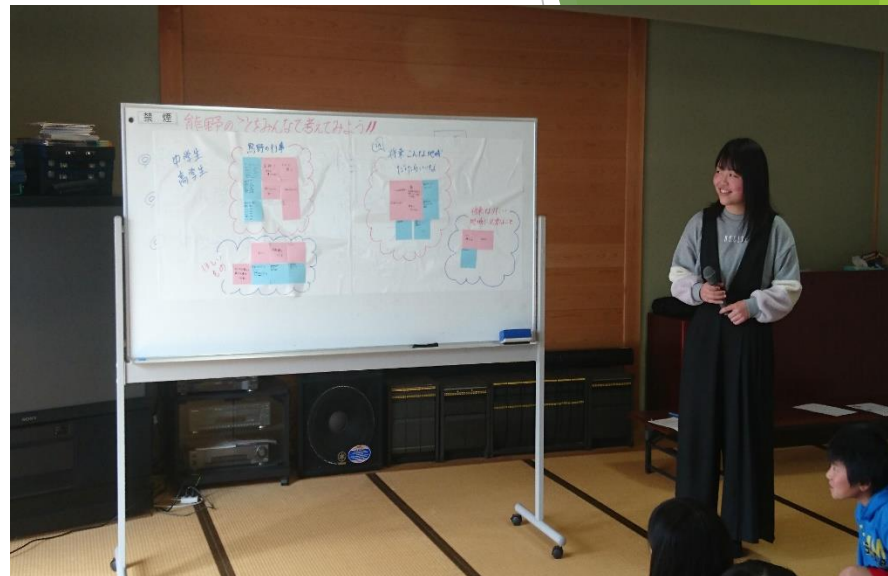
場所：熊野総合センター

出席者数：30名

### (内容)

- ①地域のいいところは？
- ②将来像。どんな地域であってほしいか？
- ③そのためにできること、必要なこと。

# <ワークショップ風景>



## ■ 井倉地域共生社会推進チーム

- ▶ 全体の運営・進行をサポート
- ▶ グループ内に入り、話し合いのサポート（とりまとめ・発言者の選定など）

# <将来計画（表紙）>

アンケートやワークショップ等で出された意見を  
役員会で集約（平成31年4月上旬～5月中旬）

## まちづくり計画 策定に向けた 取り組み

「熊野地域まちづくり計画」を策定するため、助け合いに関するアンケート調査や、小地域ケア会議、「みんなでつくろう！よりよい熊野」という名称でのワークショップなどを通して、話し合いを重ねてきました。

現状を知り	H29.7	立上げ	小地域ケア会議（随時）
意見を聞き出す	H29.12	調査	助け合いに関するアンケート
計画の進捗を確認	H31. 3.30	第1回	ワークショップ「みんなでつくろう！よりよい熊野・子どもの会」
	H31. 4.12	第2回	ワークショップ「みんなでつくろう！よりよい熊野・大人の会」
	R1. 5.18	総会	計画を共有しよう！



## 熊野地域 まちづくり計画

熊野地域の目指す将来像

みんなで支え合い、生きがいのある熊野！

熊野地域のみなさんへ

熊野地区では、5年、10年と暮らしやすい地域であり続けるために、アンケート調査や「みんなでつくろう！よりよい熊野」と題してワークショップなどを開催し、小学生から大人まで、熊野の未来について話し合ってきました。

人口減少や少子高齢化の状況の中、これからも「生きがいのある熊野」を目指して「熊野地域まちづくり計画」を策定しました。

熊野は、これまでも「熊野簡易水道」や「道路拡張」「熊野幼稚園」「盆踊り・花火大会」「運動会」等、地域が一体となって様々な問題に取り組んできました。さらに「助け合い事業」など、生活に密着している事業にも取り組み始めました。

これからも、みなさんの目指す将来に向かって実現していけるよう一緒に取り組みましょう。

本計画は、時代の変化に合わせ、必要に応じて見直しを行っていきます。

▶発行 熊野の将来を考える会（令和元年5月）

### 熊野の将来を考える会 組織図

**推進体制**

```

graph TD
    A[会長] --- B[副会長]
    A --- C[事務局]
    A --- D[理事]
    D --- E[総務部]
    D --- F[健康・福祉部]
    D --- G[地域調部]
    D --- H[地域安全部]
    D --- I[教育・文化部]
    J[自主防災組織] --- D
            
```

# <将来計画>

		地域の現状-活動の方向性-目指す姿			目指す姿のために必要な取り組み			担当事業
分野	テーマ	高い点	課題の課題-問題点	分野別の現状	課題の取り組み	優先に考えられる取り組み	高次の取り組み	
地域振興・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域振興</li> <li>▶ 人と人との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 旅行客が多い</li> <li>▶ 観光客が集中し過ぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客の満足度が低い</li> <li>▶ 観光客中心の観光</li> <li>▶ 観光客の滞在が短い</li> <li>▶ 観光客の滞在が長くても満足度が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客が満足し、一泊二日行動できる観光客になってほしい</li> <li>▶ 観光客を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光水着・キャンプ</li> <li>▶ 観光客向け</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)観光客向け</li> <li>▶ 観光客向け</li> <li>▶ 観光客向け</li> <li>▶ 観光客向け</li> <li>▶ 観光客向け</li> <li>▶ 観光客向け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客の滞在(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光水着・キャンプ</li> <li>▶ 観光客向け</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域振興</li> <li>▶ 教育-文化</li> </ul>
地域安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客が満足している観光客がある</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客が満足し、一泊二日行動できる観光客になってほしい</li> <li>▶ 観光客を増やす</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域安全</li> </ul>
地域振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フォーム観光が得意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域振興</li> </ul>
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客が満足(観光客)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 健康-福祉</li> <li>▶ 地域安全</li> <li>▶ 教育-文化</li> </ul>
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客を通じて人の交流が多い</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 健康-福祉</li> <li>▶ 地域振興</li> </ul>
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 健康-福祉</li> </ul>
教育-文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客の滞在が長くなった</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教育-文化</li> <li>▶ 地域振興</li> </ul>
教育-文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客</li> <li>▶ 観光客</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客が満足(観光客)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> <li>▶ 観光客向け(観光客向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教育-文化</li> </ul>

# <将来計画>

イベントだけでなく、地域課題解決対策も！

## 計画に盛り込まれた新たな取組の例

- ▶雇用・産業分野
  - ・休耕地を活用した農業体験
  - ・地域資源を活かした特産物開発（ジビエ等）
- ▶健康・福祉分野
  - ・サロン活動の拡大（いつでも気軽に利用できる）
- ▶子ども分野
  - ・長期休業中の無料塾（教員OB活用）



### 3 組織構成・規約等の整備



将来計画に基づき、新たに設置した健康・福祉部会が地区社協の機能を引き継ぐなど、組織体制を見直し

地域内の既存組織の整理や部会への機能移転も！

- ▶ アンケート結果や、ワークショップの内容などをもとに検討
- ▶ 既存の規約に細則を設け、部会の設置等を新たに規定

#### ■ 井倉地域共生社会推進チーム

- ▶ 話し合いのサポート

# <地域運営組織> 熊野の将来を考える会設立

- 登録番号 : 1
- 設立日 : 令和元年5月18日(土)
- 場所 : 熊野総合センター
- 出席者数 : 39名
- 人口 : 269人
- 世帯数 : 101世帯



## ②唐松まちづくり協議会

◇母体組織  
「唐松地域づくり推進委員会」  
「唐松地域振興会」  
「広瀬地域振興会」

- H30.4  
地域内の目的が同じで役員も重なる団体を一つにして、住民負担を軽減し、より良いものに！
- H30.10  
新見市版地域共生社会実現に向けた市の説明会
- H30.10～  
唐松・広瀬地区地域づくり・振興会新組織設立準備会 立ち上げ



# 1 準備組織の立ち上げ

- ◇メンバー：20名（生活支援コーディネーターもメンバーの一員として参加）
- ◇協議開始日：H30.10.31（おおむね月に2回協議）

## ■ 唐松地域共生社会推進チームのかかわり方

### ○ 地域運営組織の設立支援

- ▶ 話し合いの場への参加
- ▶ 話し合いのサポート
- ▶ 事例等の情報提供

（例）

アンケート事例の紹介  
や、設立までの手順など



# 2 将来計画づくり (1) まちづくりアンケート

## 唐松・広瀬地区まちづくりアンケート

(一般向け)

あてはまる番号に○をしてください。

問1 居住地

1. 田津 2. 小市位原 3. 市場 4. 山根 5. 上位田 6. 下位田  
7. 大峠 8. 上真壁 9. 下真壁 10. 佐栗 11. 田元上  
12. 唐松市首住宅 13. 宮組 14. 郷組 15. 美穀団地 16. 上宮地  
17. 下宮地 18. 上川合 19. 下川合 20. 上広瀬 21. 下広瀬

問2 性別

1. 男 2. 女

問3 年齢

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代  
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代 9. 90歳以上

問4 家族構成

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子2世代 4. 親子3世代以上  
5. その他 ( )

問5 唐松または広瀬地区に住んでどれくらいになりますか。

1. 生まれてからずっと 2. 50年以上 3. 20年以上 4. 10年以上  
5. 5年以上 6. 5年未満

問6 今後も唐松・広瀬地区に住み続ける予定ですか。

1. 住み続けるつもりだ 2. 住み続ける可能性が高い  
3. どちらともいえない 4. 出て行く可能性が高い  
5. 出て行くつもりである

問7 あなたが思う、地域の良いところを教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 景観・自然環境が良い 2. 歴史や伝統、文化財や神社、寺院等が残っている  
3. 良い産物(農産物、林産物、加工品等)がある 4. 助け合いができている  
5. 人情が良い 6. 働く場所(事業所)がある  
7. 誇行事(祭り、イベント等)が盛ん 8. その他 ( )  
9. 良いと思うところはない

(裏面に続く)

## 唐松・広瀬地区まちづくりアンケート

(中学生～18歳・高校生向け)

あてはまる番号に○をしてください。

問1 住んでいるところ

1. 田津 2. 小市位原 3. 市場 4. 山根 5. 上位田 6. 下位田  
7. 大峠 8. 上真壁 9. 下真壁 10. 佐栗 11. 田元上  
12. 唐松市首住宅 13. 宮組 14. 郷組 15. 美穀団地 16. 上宮地  
17. 下宮地 18. 上川合 19. 下川合 20. 上広瀬 21. 下広瀬

問2 性別

1. 男 2. 女

問3 学年・年齢

1. 中1 2. 中2 3. 中3 4. 16歳 5. 17歳 6. 18歳

問4 大人になってもこの地域に住みたいと思いますか。

1. 住みたい 2. 住みたくない 3. どちらともいえない  
4. 進学や就職などで一度離れたとしてもいずれは帰って来たい

問5 あなたが思う、地域の良いところを教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自然が残っている 2. 歴史や伝統、文化財や神社、寺院等が残っている  
3. 良い産物(米、野菜、くだもの、花、木、山菜、キノコ、加工品等)がある  
4. 助け合いができている 5. 地区の人たちの心が温かい  
6. 働く場所(事業所)がある 7. 祭りや催しものなどの行事が盛ん  
8. その他 ( )

問6 地域での課題や取組が必要なことはなんでしょうか。分野毎に重要だと思うものに3つまで○をつけてください。

【生活環境・自然環境分野】

1. 山林の荒廃 2. 荒廃農地・休耕地の増加  
3. 有害鳥獣被害の増加 4. 小坂部川の整備  
5. ゴミなどの不法投棄 6. 商店が少ない  
7. 道路の整備 8. 路線バスの本数が少ない  
9. その他 ( )

(裏面に続く)

対象者

：唐松・広瀬地区に住む地域住民

実施時期

：平成31年1月上旬～中旬

回答者数

：一般向け511名、  
中高生34名  
(回収率：約60%)



“一般向け”  
“中学生～18歳・高校生向け”  
を作成

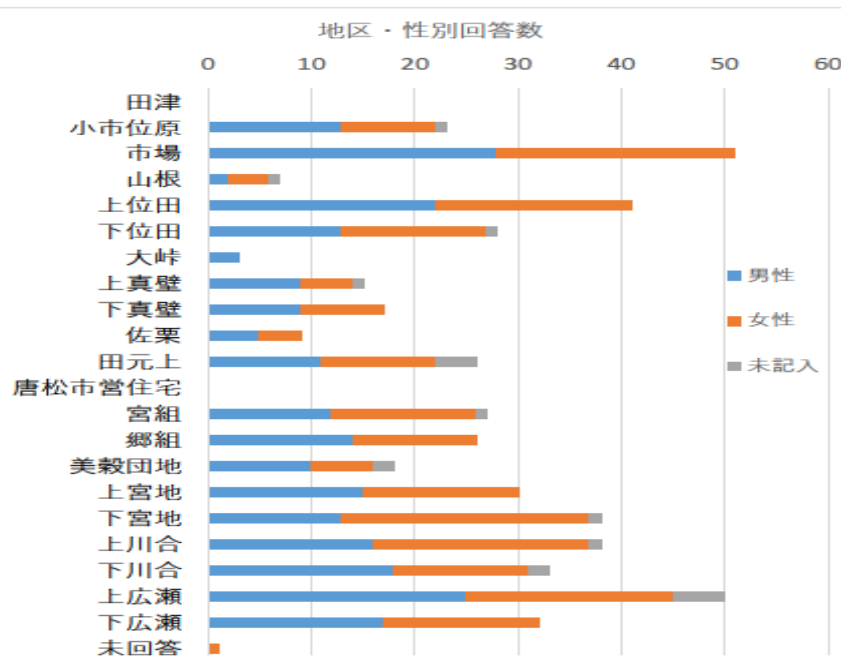
# <まちづくりアンケート>

唐松・広瀬地区まちづくりアンケート（一般）

## 1. 地区別・性別回答数

地区	男性	女性	未記入	合計
田津	0	0	0	0
小市位原	13	9	1	23
市場	28	23	0	51
山根	2	4	1	7
上位田	22	19	0	41
下位田	13	14	1	28
大峠	3	0	0	3
上真壁	9	5	1	15
下真壁	9	8	0	17
佐栗	5	4	0	9
田元上	11	11	4	26
唐松市営住宅	0	0	0	0
宮組	12	14	1	27
郷組	14	12	0	26
美穀団地	10	6	2	18
上宮地	15	15	0	30
下宮地	13	24	1	38
上川合	16	21	1	38
下川合	18	13	2	33
上広瀬	25	20	5	50
下広瀬	17	15	0	32
未回答	0	1	0	1
総計	255	238	20	513

865



1 ページ

## ■ 唐松地域共生社会推進チーム

- ▶ アンケート項目のアドバイス
- ▶ アンケート結果の集計・とりまとめ

# 2 将来計画づくり (2) ワークショップ

～子ども（小学生）から大人まで一堂に会して～



日時：平成31年

2月24日(日)

場所：唐松公民館

出席者数：60名

## (内容)

- ①唐松の夢・将来像・キャッチフレーズ
- ②キャッチフレーズの実現に向けて必要なこと、自分たちができること




# < 将来計画（表紙） >

## ▶ アンケートやワークショップ等で出された意見を準備会で集約（平成31年3月上旬～5月中旬）

### 将来計画策定に向けた取り組み

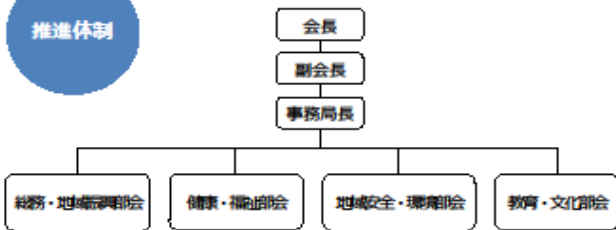
「唐松地域の将来計画」を策定するため、まちづくりアンケート調査や、小地域ケア会議、「未来をみんなで語り合う会」という名称でのワークショップなどを通じて、話し合いを重ねてきました。

現状を知る	H28.11	随時	小地域ケア会議
策定の準備	H30.10.30	立上げ	地域づくり・振興会新組織設立準備会設立（以降随時開催）
アンケートの実施	H30.12	調査	中学生以上を対象としたまちづくりアンケート実施
話し合い	H31. 2.24	話し合い	ワークショップ「未来をみんなで語り合う会」
計画の策定	R1.6.2	総会	計画を共有しよう！

唐松まちづくり協議会 組織図

推進体制



## 唐松地域 まちづくり将来計画

### 唐松地域の目指す将来像

みんな笑顔でやさしい地域  
「オール唐松」で未来へつなごう

### 唐松の名前の由来

唐松という地名は古く、中世には備中国村社(林)郷の地名として記録が残っています。由来は定かではありませんが、昔唐松の大木があったことにちなむともいわれています。

### 唐松地域にお住まいのみなさんへ

唐松地域では、将来に亘って住みよい地域であり続けるよう、まちづくりアンケートや「未来をみんなで語り合う会（ワークショップ）」などを開催し、小・中学生から大人まで、地域のみなさんと唐松の未来について話し合ってきました。

全国的な人口減少時代が到来する中、和気あいあいと楽しく暮らせ、助け合い、協力し合える住みよい地域、地域の特性を活かしたキラリと光る地域を目指し、「唐松まちづくり将来計画」を策定しました。

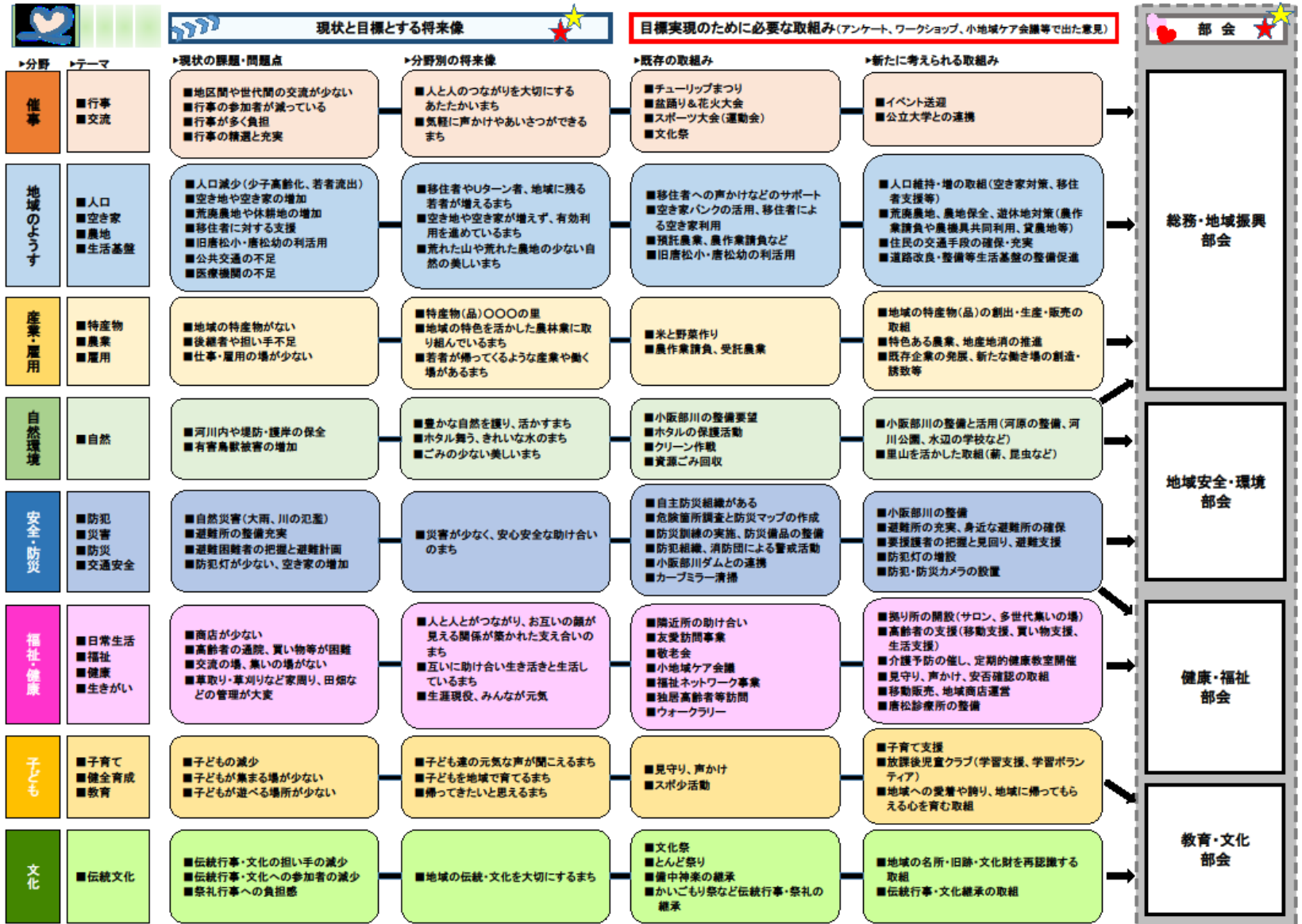
唐松で暮らすすべての人が夢と希望をもって生活し、未来を担う子どもたちに引き継いでいけるよう、一人ひとりが地域を愛し、考え、行動する地域を目指し、オール唐松で一緒に取り組んでいきましょう！

本計画は、時代の変化に合わせ、必要に応じて見直しを行っていきます。

▶発行 唐松まちづくり協議会（令和元年6月）



# <将来計画>



# <将来計画>

## 計画に盛り込まれた新たな取組の例

イベントだけでなく、地域課題解決対策も！

### ▶ 地域環境分野

- ・ 空き家対策、移住者支援等（移住者のノウハウ活用）
- ・ 耕作放棄地対策（作業請負、農機具共同利用制度）

### ▶ 福祉・健康分野

- ・ 拠り所（サロン、日常的な多世代交流の場）の開設

### ▶ 子ども分野

- ・ 放課後児童クラブ（学習支援、学習ボランティア）

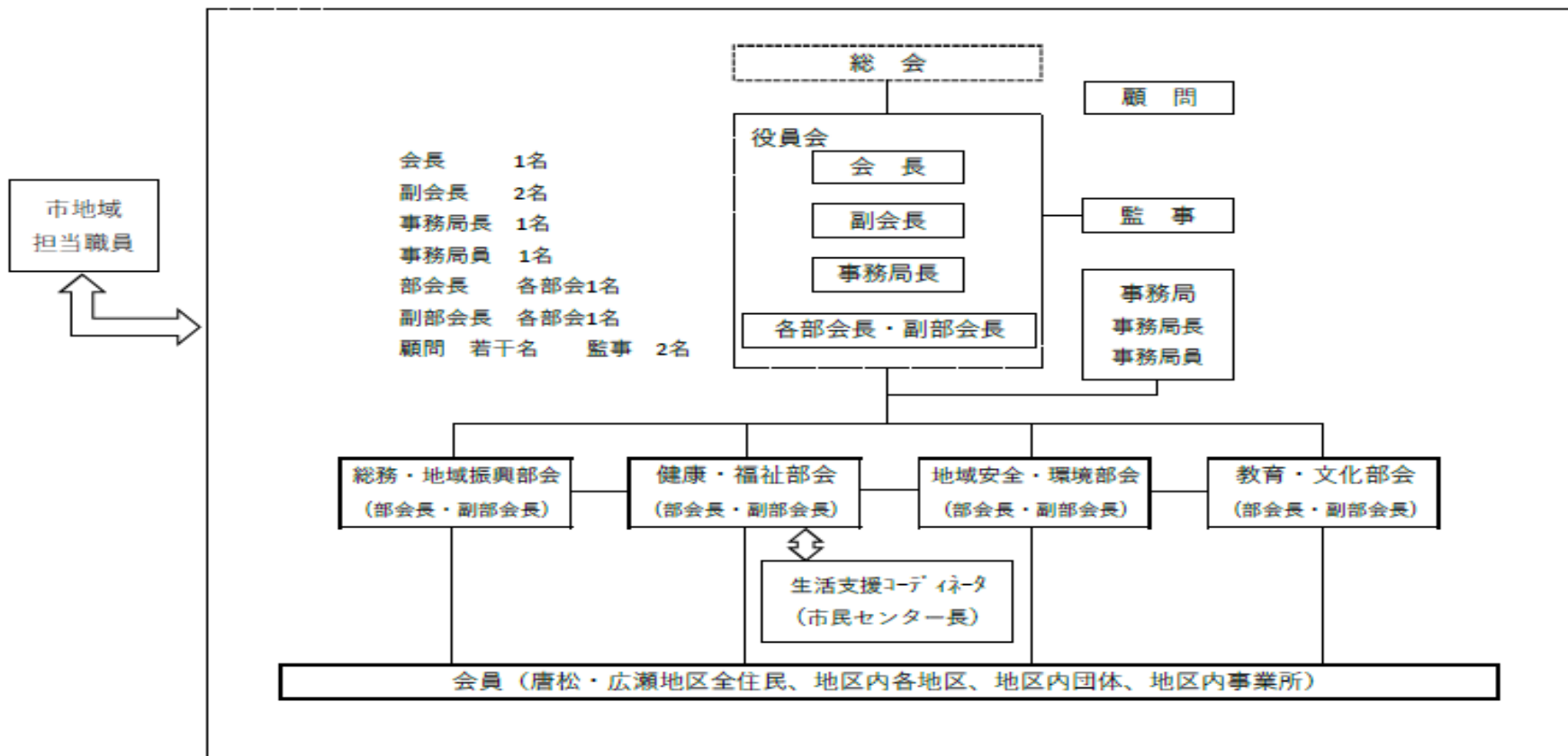
# 3 組織構成・規約等の整備

NO.1

▶ アンケート結果や、ワークショップの内容などをもとに検討

(組織図)

〇〇〇〇組織体制図



## ■ 唐松地域共生社会推進チーム

▶ 話し合いのサポート

# 3 組織構成・規約等の整備

NO.2



地域内の既存  
組織の整理  
や部会への機  
能移転も！

健康・福祉部会がこれまでの地区社協の機能を引き継ぎ、福祉ネットワーク事業、小地域ケア会議を担当するなど既存組織を部会へ機能移転した（組織の整理統合）。

▶ アンケート結果や、ワークショップの内容などをもとに検討

## ■ 唐松地域共生社会推進チーム

▶ 話し合いのサポート

# 4 設立総会 (唐松まちづくり協議会設立)

- 登録番号 : 2
- 設立日 : 令和元年6月2日(日)
- 場所 : 唐松市民センター
- 出席者数 : 60名
- 人口 : 972人
- 世帯数 : 319世帯



# < 他地域の状況 >

R1.7.12現在

母体組織（地元振興会等）との意見交換

▶市内全域で67会合

小地域ケア会議（地域課題の把握）

▶32地域で61会合

※未設置地区：5地区

（石蟹、福本、大竹/畑木、  
八鳥/大野部、上神代）

 **順次、将来計画策定着手予定**